

日本発達心理学会「文化比較・行動比較」領域分科会 2006年度報告

2007年3月26日

1. 現在の会員数とニューズレターの発行部数

- (1) 会員数 56人
- (2) ニューズレター発行 現在第18号
- (3) 発行方法 郵送：5件 インターネット：51件 合計：56件

2. 2006年度活動報告

第18回研究会開催

「発達の文化性と生物性：発達を支える文化的要因と生物学的要因の関係を考える」

日時： 2007年1月13日（土） 13:00～17:00

場所： 同志社大学 寒梅館 6A会議室

●企画：田島 信元（白百合女子大学）・南 徹弘（大阪大学）

●司会：田島 信元（白百合女子大学）

●話題提供者：南 徹弘（大阪大学）

話題提供者：板倉 昭二（京都大学）

話題提供者：田島 信元（白百合女子大学）

●指定討論者：児玉 典子（滋賀大学）

指定討論者：日野林俊彦（大阪大学）

3. 次回発達心理学会大会のラウンドテーブルまたは自主シンポジウムについて

今年のテーマを踏まえてさらに発展させ、分科会主催の企画として発表する予定である。

4. 2007年度の活動計画

学会大会に向けての研究会を秋に開催する予定である。

5. 2007年度代表幹事選出

代表幹事は去年に引き続き田島信元先生にお願いする。

2006年4月～2007年3月

顧問：東 洋・古澤 頼雄

会長・事務局幹事：塘 利枝子

代表幹事：田島信元

幹事：唐澤 真弓・莊巖 舜哉・南 徹弘・白井 博・氏家 達夫・上村 佳世子・柴山 真琴

なお、代表幹事の任期は2006年4月～2007年3月とする。但し再任を妨げない。